

リポソーム作製のための油中水滴エマルション遠心沈降法の標準化に向けて

豊田太郎

(東京大学大学院総合文化研究科)

様々な“分子部品”を搭載できる“分子ロボットのシャーシ（車体）”としてリポソームを作製するに当たり、油中水滴エマルション遠心沈降法は有力な手法であるが、巨大リポソームに内包する物質に合わせて最適化することが現状であり、システムとしての標準化は確立できていない。本発表では、本手法を用いたリポソーム作製の実験結果のケーススタディを通じて、標準化のためのプロセス開発を議論したい。